



外房大原の餌木タコ

外房大原港出船

根掛かり無用で快適快釣

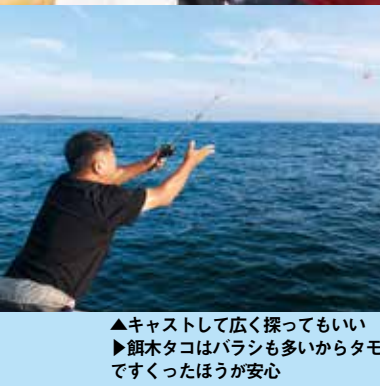
★太東沖のゴロタ場は根掛かりの心配がほとんどないからタコ餌木の3本付けもOK

▲小型と言っても500グラムはある
◀船内1号が釣れるとただでもうれしい
▼太東沖の水深8~12メートル前後を横流しで狙う



◀タコ餌木は3~4号、オモリは30~40号を状況で使い分ける
▶当日はタコ餌木専用ロッドと小型両軸の組み合わせの人が多かった

▶目下、大原のマダコは1~2キロ級が頻繁に交じる
▼帽子と日焼け止めなど熱中症対策は万全に



撮影●鈴木良和



▲キャストして広く探ってもいい
▶餌木タコはバラシも多いからタモですくったほうが安心

関東でも定番となった餌木タコ。外房大原では今年も7月から乗合船がスタートし、0.5~2キロ級の大小交じりでトップ5杯前後とまします。仕掛けはタコ餌木1~2本にオモリ30~40号と東京湾と同じタックルで楽しめる。釣り場は大東沖の水深8~15メートル前後のゴロタ場が中心。当地は根掛かりがほとんどないのが特徴で、思う存分餌木タコを楽しめるのがうれしい。餌木タコ初挑戦の人にぜひともおすすめしたいフィールドだ。
(詳細は52ページ参照)



◎外房大原港・長福丸
藤井 俊輔船長